

# 「ゼロカーボンシティ」の取組み

担当：環境政策課 高畑、日高（電話 0979-62-9071）

地球温暖化は地球全体の環境に深刻な影響を及ぼすものであり、温室効果ガスの削減は全世界共通の課題です。日本では2020年10月のカーボンニュートラル宣言以降、関係法令の改正などその取組みが加速しています。

中津市においても、かけがえのない環境を次世代に引き継いでいくため、地球温暖化対策に積極的に取り組み、2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロにする脱炭素社会「ゼロカーボンシティ」を目指します。

「ゼロカーボンシティ」とは…

2050年に二酸化炭素を実質ゼロにすることを首長自ら又は地方自治体として公表した地方自治体（環境省定義）

## 具体的な取組み

- 地域脱炭素移行・再エネ推進交付金を活用した重点対策加速化事業の実施
- 公用車へのEV自動車の導入
  - ▶ 交付対象事業として環境省から県内市町村で初めて選定される
- 脱炭素社会推進基金(3億円)の創設

### ◇重点対策加速化事業（令和5年度～令和9年度）

全体事業費（計画）：約850,000千円（うち交付金額約520,000千円）

事業内容：①太陽光発電設備・蓄電池の導入促進（市民・事業者）

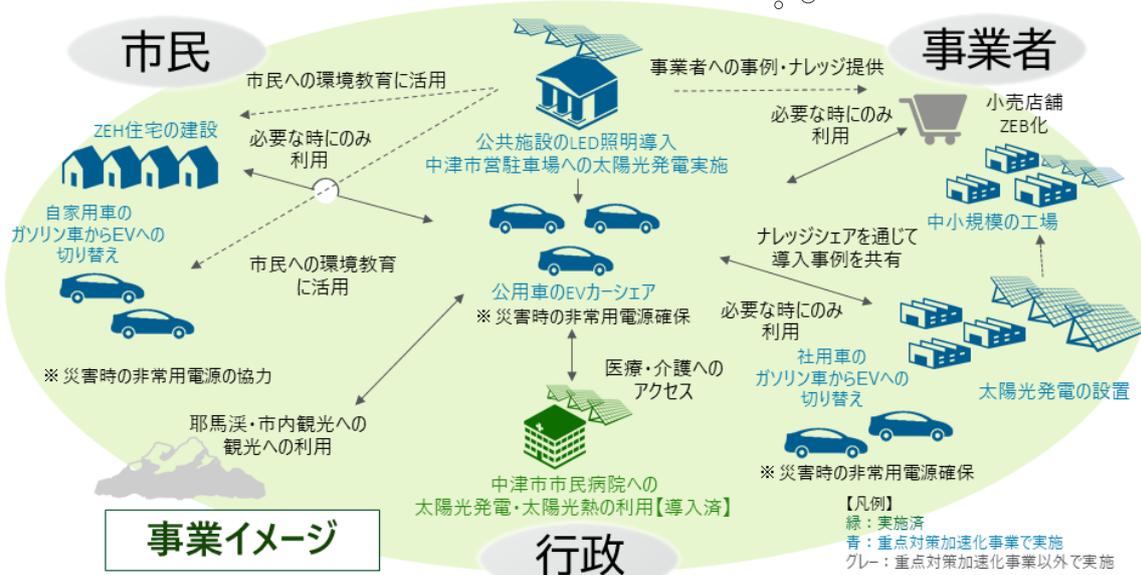
②公共施設LED照明化の推進（行政）

③EV自動車の普及促進（市民・事業者）

④一般住宅のZEHの推進（市民）

⑤公用車カーシェア事業（行政）

二酸化炭素排出削減量  
約64,000 t-CO<sub>2</sub>



6月補正に重点対策加速化事業のほか脱炭素社会実現に向けた事業を計上